

「ピーターのいす」

京都サークル 3年生 中野 美里

解釈 12～21 段落

「ところが、おしりがいすに入らない。ピーターは、大きくなりすぎていたんだ。」

で、ピーターは自分が思っていたより、大きくなっていることに気が付いた瞬間だった。

幼い自分からの卒業をしなければならないと思ったピーターは、そこらいいことを考

え、いつもとは違う行動を取った。

お兄ちゃんになったから、いつもは返事をしていただけ、あえて聞こえないふりをして

みたり、カーテンに隠れているように見せかけて棚の裏に隠れてみたり、と前半のピータ

一の行動と打って変わって賢い行動を取るようになった。更に、自ら大人の椅子に座り、

さっきまでの自分とは違う行動をとる。最後には、「青い いす」から「ちっちゃな い

す」と言い換えている。このことから、自分には、もうこの椅子を使う必要はないと気付

き、幼い自分から卒業しているので、必要性のある幼いスージーのためにピンクに塗ろう

よと提案した。

学級で出た課題

- ・なぜ、ピーターは大声をあげた言ったのか。
- ・ピーターは本当にお尻が入ると思って座ったのか。
- ・ピーターにとって「いいこと」とは何なのか。

今回の問題

なぜ、ピーターはちっちゃな いすを ピンクに ぬって、あげようとしたのだろうか。

授業記録

前時の復習

T1：みんな覚えてる。ちょっとわすれてる。

C:ちょっと忘れてる。

C2 中：この犬がつみきこわしてなんか・・・こっそり見たらぬられてた

C3 沖：であかちゃんがうまれたから・・・

(同時に話していたのでうまく聞き取れず)

T2：なにがとられてたん？

C4 中：えっと赤ちゃんのときに使ってた椅子が塗られてた

何人か C：ゆりかご

C5 沖：ゆりかごやで

T3：まずゆりかごやな、ゆりかごが塗られてて次が…

C6 沖：で食堂椅子が塗られてて

C7 岡：食堂椅子

C8 中：食堂椅子がぬられてて、あとちっちゃい普通の椅子が残ってて、家出しよって言って家出した

T4：うん。ほんで大声あげたのはなんでやったっけ

C (いろいろな子)：かまって欲しかったから

T5：かまってほしっ

C9 東：塗って欲しかったから家の前いったんちゃうん

T6：塗って欲しくて家の前に行ったん？

C10 北：ううんかまって欲しかったから。

C：かまって欲しかった

T7：構って欲しかったん。誰に構って欲しかったん？犬？

C：お母さんとお父さん

T8：なんで構ってもらってないの

C：理由を口々に言う

T9：今しゃべれる人は授業をしっかり受けて覚えてるんやな。今しゃべれなかった人は、どう？思い出してきた？

C：もう、思い出してる

T10:大きな声を出したのはお家の人になかなか構ってもらえなかったからやな。構ってもらえへんってわかったんは、まずお母さんはスージーに

C11 沖：ずううっと一緒にいたりしてゆりかご揺らしたりしてる。

T11：お父さんは

C12 岡：お父さんはうまれたからその…いすとか

C13 柴：生まれたらから自分の椅子とかピンクにぬったりした

何人かしゃべる

T12：だれのためにやってはるなって話してたっけ。

C14 沖：スージー

C15 柴：赤ちゃん

C：スージー 赤ちゃん

T 1 3 : で家出しようと思ってんな。ということでかわいい家出をしてんねんな。なんでこれかわいい家出なん？

何人かしゃべっている

C 1 6 東 : はいはいはい。構ってほしかったからやろ。もっと遠いところいけるんちゃうん。

T 1 4 : もっかい言って

C 1 7 東 : 構って欲しいから近くにいるだけでほんまはもっと遠いところいけるんちゃうん

C 1 8 北 : 公園とかいけるやん

C 1 9 柴 : 構って欲しいだけやからかわいい家出した

C 2 0 岡 : ここにさ、「さあ、帰っておいでピーターお昼はすてきなごちそうですよ。」ってあるからさ無視したのはさ下まで降りてきてほしかったからちゃうん

C 2 1 北 : ほんまやったら構って欲しかったから家の前やったけど、ほんまやったら幼稚園とか保育園とかやから友達の家とか公園とかに行ってたと思う

T 1 5 : ほんまに家出したかったらってこと。

C : うん

C 2 2 沖 : おばあちゃんのお家とかに

T 1 6 : もしかしたらいけるかもしれへんもんな。じゃあ次行くで。ピーター椅子に座ろうとしたんは、自分は座れると思って座ろうとしたんやっけ。

C : うん

T 1 7 : 証拠なんやった。

C : ところが おしりが入らへんかった

T 1 8 : そうそうところがやったやんな。つぎ17段落のところやったやんな。しかし、を覚えていますか。

C : うん

T 1 9 : いつもやったら

C 2 3 沖 : 聞くけど、しかし！

C 2 4 荒 : いつもやったら返事するけど

T 2 0 : しかし やから

C 2 5 荒 : 今日はしなかった

C 2 6 熊 : 反対

T 2 1 : いつもと

C : 反対 反対

T 2 2 : 反対のことが起こったんやな。ほんでいいこと考えたんやんな。

ほんでいいことってなんやねんってことやってんな。前の方振り返ってみようか。って言ってみんなで振り返ってんな。

「いいこと」について

C 2 7 熊 : いいことって自分にとってもいいことでもあるし、相手にとってもいいこと。

C 2 8 沖 : お母さんに気づかれへんように部屋の中に入って、お母さんに探してもらってどこにいったのか言われたいから自分で隠れたんや。

T 2 2 : うん、ほんで、いいことの中身考えなかな。

C 2 9 白 : それやったら相手の方が・・・(かぶってきこえず)

C 3 0 熊：あれー。自分にもいいことやし相手にもいいこやって言うてる人がいた気がする
T 2 3：ちなみにいいことって例えば、なにがあるの
C 3 1 沖：構って欲しいから隠れてびっくりさせる
C 3 2 熊：自分にとっていいこと
T 2 4：何しはったん
C 3 2 沖：え。隠れて、カーテンの裏にいると見せかけてただ靴置いてただけで、あの筆筒のうしろとかに
隠れてびっくりさせてた
T 2 5：見せかけて・・・筆筒？筆筒って書いてあるの？
C：棚やな。
C 3 3 山：大人の椅子に・・・
T 2 6：ちょっとまってや、筆筒、筆筒？これ、棚か、棚の裏に、これいいことなんやね。他にいいことある？
これだけ。いいこと。
T 2 7：さっきYさんなんか言ってたよ
C 3 4 山：棚じゃなくて椅子って言うだけ。
T 2 8：棚じゃなくて椅子か。棚じゃなくて椅子？どこの話？
C 3 5 沖：同じ場所やで、棚のうらじゃなくて、大人の椅子の裏
T 2 9：大人の椅子の裏やった。
C：ちがうよ
C 3 6 沖：まったく椅子には見えへん
T 3 0：他にいいことしてない。これだけ、いいこと。ちょっとわかんない？
C：んーと
C 3 7 柴：ピンクにぬったこと
C 3 8 熊：2 1 段落のちっちゃないすスージーのためにピンクに塗ろうよって言ったこと
C 3 9 柴：同じ
C 4 0 山：けどそれって…ピーターにとっていいことじゃないんちゃうん
C：いろいろ言う
C 4 1 木：けどなんで自分から言ったん。いいことじゃないのに。
C 4 2 沖：お母さんに言われていやいやあげるは、嫌々やけど、自分から言うんやったらいいよって
C 4 3 中：相手にも自分にとってもいいことなんちゃうん
C 4 4 沖：自分があげたかったんちゃうん
T 3 1：Kさん、さっきなんて言った。
C 4 5 木：え。これは、自分で言ったから自分にいいことなんちゃう。
C 4 6 沖：うん。人に言われて無理やりあげさせるんやったらめっちゃ嫌々やん

対立課題

T 3 2：Aさん
C 4 7 荒：これ過去の椅子やけど、もうお兄ちゃんやし、卒業？しようかなって思ったんちゃうん。
C 4 8 白：あー。
C 4 9 沖：もうちっちゃいからもっとおっきい椅子に…
(何人かしゃべる)
T 3 3：何から卒業するの。
C：椅子から ちっちゃいすから

T 3 4 : ちっちゃい椅子から卒業するだけ? A さんそういう意味?

C 5 0 東 : 過去から自分からの卒業

T 3 5 : 過去の自分って何?

C 5 1 中 : 赤ちゃんやった時の自分

C 5 2 沖 : 昔の自分

C 5 2 荒 : 赤ちゃんのときの、赤ちゃんの時は座ってたけど、お兄ちゃんになってきているから、あ、どんどん成長していつてるから、えーっとさっき、あの、おしりがなんやっただけ

C : 入らへん 入らへん

C 5 3 荒 : 椅子に入らへんって言うてたから、えっと・・・もう卒業しようかなって思ったんちゃう。

C 5 4 木 : あかちゃんから卒業したん。

T 3 6 : どう? 今の。

C : あー うんうん

T 3 7 : そしたらこれ、いいことってあかちゃんからの卒業なん。どうということなんやろ。

C : うー——ん

C 5 5 柴 : ピーターなんでピンクに塗ろうと思ったんわ。ただいい子って思ってくれると思ったから言ったんちゃうん。

C : ああ!

C 5 6 沖 : いい子って思って自分に構ってくれると思ったから

C 5 7 柴 : だからそういう影響もできると思う。

C : あー

C 5 8 沖 : これあげたら偉いねーってお母さんに褒めて構ってもらえると思って、塗っていいよって言ったんやろ

C 5 9 熊 : お父さんとお母さんが見てくれるーって

C 6 0 北 : 私もよくやったわ

T 3 8 : 昔よくやったん

C 6 1 沖 : スージーから取り戻したって

なんか色々

C 6 2 中 : 1 と 2 で聞いてみたら?

いいことを考えた後にピーターがしたことを整理する

T 3 9 : ちょっと待ってな。一回ストップして。いいことって他ないあと。ピーターのやったこと探してごらん。

ピーターのやったこと

C 6 3 熊 : やったこと?

C 6 4 沖 : ごはん無視したことはいいことじゃないやろ

C : いやいや、無視は・・・

T 4 0 : まあいいことかは置いといて、考えた後にやったことやな、まず無視したやな

C 6 5 熊 : 無視

C 6 6 沖 : ごはんを無視したやろ

C 6 7 白 : あと家出

T 4 1 : あっちゃうわ、無視じゃないな。ちゃんと文の通り言って。なんて書いてあるの。

C 6 8 岡 : 家出

T 4 2 : 家出?

C : ちがう

C 6 9 岡：聞こえないふりをした？

T 4 3：そうやね 聞こえないふり ほんで？ 棚の裏に隠れた、カーテンにいると見せかけた

C 7 0 沖：びっくりさせてちっちゃないすをピンクに塗ろうって言った

T 4 4：ここの間になんかない

C 7 1 白：お父さんの椅子に座ったではないな

T 4 5：ん？ Sさんもう一回言っつて。

C 7 2 白：お父さんの、ああ、大人の椅子にすわった

C：ああ。私も言おうとしてたのと一緒

T 4 6：これはどうですか。大人の椅子に座ったっていうてはるけど。

C：うん

C 7 8 柴：だってさ、座ったんは

C 7 9 北：お父さんの椅子のそばに座った

C 8 0 白：お父さんの椅子のそばに座った

T 4 7：いいこと考えた後にこんだけのことしてはるんやな

C：うおー めっちゃするやん めっちゃするやん

T 4 8：なんかようわからんな、やってることが

C 8 1 柳：ようわからん、なんでそれを思いついたんか

C 8 2 沖：これしたら、お父さんたちに構ってもらえるって思ったんちゃう

T 4 9：そうおもったんかな。

赤ちゃんのときの自分からの卒業なんかな

C 8 3 中：一回多数決取ったら。

C 8 4 山：多数決取ったら

C 8 5 木：1と2で分かれた

いいことを考えるきっかけを探す

T 5 0：まず、どっちでもいいけど、まず1か2か決めてもらったらいいんやけどこれがきっかけになることってなんやった。考え始めるきっかけ

C：はお母さんが・・・ 構ってもらいたいから

T 5 1：それどこに書いてあるの、それ書いてある文探して

C 8 6 白：まずなんで聞こえないふりしたん

T 5 2：Aさんはさっき言うてたな。「赤ちゃんのときの自分からの卒業」のきっかけはここやって

C 8 7 荒：覚えてない

C 8 8 沖：ごはん無視したんはお母さんが外にあの一探しに来てくれると思ったから聞こえないふりをしたんやで。

T 5 3：なにきっかけでいいことを始めはったん。

C：え きっかけ

T 5 4：うん。いいことをする前に何してたん。

C 8 9 沖：家出

C 9 0 白：多分これやと思うけど文がみつからん

T 5 5：じゃあ文探してごらん

C 9 1 沖：家出してる

T 5 6：家出がきっかけ

C 9 2 東：ちがう。ピンクに塗られてからまず家出かどっかしてそっから・・・じゃあ家出か
T 5 7：家出したらこれしようと思うの？
C：うーん ええ？
T 5 8：文章から探してごらんよ。始まりのところ
C 9 3 白：ちゃうなあ
C 9 4 柴：まずまず構って欲しかったから家出したんやろ…
T 5 9：この辺読んでごらんよ
しばらく考える
T 6 0：いいこと考えた前は何してますか。
C 9 5 白：いいこと考えた前は座ろうとした。
T 6 1：Sさんもう一回言って
C 9 6 白：小さな椅子に座ろうとした。
C：ああ あっ
C：ん？ ん？
T 6 2：Oさんどうしたん。なんか気づいた。
C 9 7 岡：気づこうとしてんけどきづけへんかった。
T 6 3：あらあ。いすに座ろうとした。ほんで？
C 9 8 木：んで座れへんかったから・・・(聞き取れず)
T 6 4：なんて言った。もう一回言って。
C 9 9 木：座ろうとしたけど座れへんかったから譲ろうとした
C 1 0 0 沖：違うと思うで
T 6 5：なんで違うと思ったん。Oさん
C 1 0 1 沖：その後がいいこと思いついたであの一えっと一ご飯も無視してカーテンの裏にいるとみせかけて棚の裏にいてびっくりさせて、大人の椅子に座ったんやったらそれやったらあの一偉いねーってかまって欲しかったからあげようと思ったや、ピンクに塗ろうって言って
C 1 0 2 白：やけどこの時点で①やったら…
C 1 0 3 白：椅子に入らないのはわかってるはずちゃうん
T 6 6：なんてもっかい言って。
C 1 0 4 白：もしも14段落で①のこと思ってるんやったら、入らへんこと確定やと思うんやけど。
C 1 0 5 沖：けど、赤ちゃんのときから自分の卒業やったらいいことを考えたとかなかったと思う。
C 1 0 6 北：だって、椅子に座れへんかったから・・・
T 6 7：なんてもっかい言ってSさん
C 1 0 7 柴：赤ちゃんのときの自分からの卒業やったら大人の椅子にすわったきかけにできるかもしれへんし2番のいい子と思ってもらえる、構って欲しかったっていうきっかけもできるし、どっちもきっかけができる。
T 6 8：どこの段落。
C 1 0 8：最後さ…
T 6 9：この辺さよく読んでみてよ、14, 15? 13, 14, 15ら辺。なんか気にならへん？
T 7 0：気になることなあい？
C 1 0 9 熊：うーん。なんか気になるとこあるけれど、なんかそれがわからへん。
T 7 1：なんでこんな書き方したんだろうっていうとこなあい。
C 1 1 0 柴：あっある。「ところがおしりが入らない。」い。なんで「い」なん

C : あっほんまや あー あー

C 1 1 1 岡 : この、

C 1 1 2 沖 : 入ると思ってたけど入らへんかった「ところが、おしりがは入らなかった」やったらちょっと変や
「ところがおしりが入らない」に

C 1 1 3 岡 : 今座ったってことを表したかったちゃうの。

C 1 1 4 山 : ピーターは大きくなりすぎていたんだって書きたかったからじゃないの

T 7 2 : Yさんもう一回言って

C 1 1 5 山 : ピーターは大きくなりすぎていたんだって書きたかったから「い」にしたんじゃないの。

C 1 1 6 沖 : うん

C : ああ。 あー

T 7 3 : どこ？これ？「大きくなりすぎていたんだ」

C 1 1 7 柴 : なんかさ、カギはさなんで「大きくなりすぎていたんだ」って書いてあったの

C 1 1 8 沖 : 入らなかったやったら、ピーターは大きくなりすぎていたんだって繋げるんが変になる

T 7 4 : 1 5 段落が大事やからってこと。・・・そうでもない？

C 1 1 9 岡 : そうなんかもしらん

T 7 5 : おおきくなりすぎていたんだ。って書かなあかんねんやんな。ふつうやったらみんななんて書く。

C : おおきくなりすぎてしまった。

T 7 6 : ピーター大きかったではあかんの。

C : うん あー

C 1 2 0 熊 : それやったら元から大きかったことになる。

T 7 7 : ああ。じゃあピーターは大きくなったんだ。じゃあかんの。

C 1 2 1 岡 : なっていたんだ でもいいんちゃうん

T 7 8 : なっていたんだ じゃあかんの

C 1 2 2 東 : なっていたんだ やったら大きくなったって気づいてなかったから

C : うん 大きくなったて気づいてないから

T 7 9 : え。じゃあ、過ぎて、別になくてもいいやん

C : なんかいっぱいい言う

C 1 2 3 : あっ わかった

T 8 0 : はいどうぞ

C 1 2 4 北 : 赤ちゃんのときから座ったりしてるから、その赤ちゃんと今のピーターでは、大きさが違うから、
だから赤ちゃんのときにお尻がちっちゃかったから座れてたけど。おしりが大きくなるから座れな
くなから。お尻の大きさを座れないって・・・

T 8 1 : でも座れるって思って座ったんは間違いないな。

C : うん

T 8 2 : 僕はこの椅子に入るとしてんな。でも、予想外やってんな。大きくなりすぎたんやんな。

C 1 2 5 江 : あの、大きくなりすぎたってのは、椅子に入らないぐらいおっきい・・・うーん、椅子。椅子にと
って大きくなりすぎた。

C : うーん？

C 1 2 6 沖 : なんかわ違う

「大きくなりすぎた」の意味を考える

T 8 3 : じゃあまず、何々なりすぎた。の意味がわからなあかんな。

C 1 2 7 柴：国語辞典使おう。

T 8 4：多分載ってないから例文でいっこか。何々なりすぎた。言って

例文 太りすぎた やりすぎた 食べ過ぎた 寝すぎた

T 8 5：じゃあこんなもんにしとこっか。ちょっといっぱいになってきたから。食べ過ぎたで考えよか。

食べ過ぎたってどういうときに使うの。

C：ごはんいっぱい食べちゃったとき

T 8 6：はあはあ、いっぱい食べちゃったときに使うの

C：食べて食べれへんくなったから食べ過ぎた

ダイエットしてなのに食べ過ぎて なんか色々

T 8 7：もう一回言ってYさん

C 1 2 8 山：思った以上に食べ過ぎたとき

C：ああー 確かに なんか色々

T 8 8：自分が食べると思ってた量よりも

C 1 2 9 沖：もっと多く食べてしまった。

T 8 9：更に食べたってこと。

C 1 3 0 沖：つまり10個食べようと思ってたけど、おいしかったから更に食べたとか (他聞き取れず)

T 9 0：じゃあ、寝すぎたやったら

C 1 3 1 北：自分が起きる予定の時やったのに7時くらいやったのに8時とか9時とかまで寝ちゃって寝すぎた

T 9 1：なるほど、ということは、自分が頭の中で思っていた以上のことをしたときにこれを使うってこと。

C 1 3 2 白：予想よりも大きいこと

C 1 3 3 沖：自分はまだ椅子入ると思うからちょっとちっちゃーいって思って入ったけど、大きくなりすぎていたから入らへなった

C 1 3 4 中：自分はまだ赤ちゃん・・・

C 1 3 5 荒：だから・・・

T 9 2：うん。だから。

C 1 3 6 荒：だから、自分があんま大きくなかったように見えたんちゃうん。予想外のことが起きてるし。

C 1 3 7 沖：まだ入ると思ってたけど、

T 9 3：自分はまだ、まだこれくらいやと思ってたん。

C 1 3 8 沖：うん

T 9 4：今ここな、うんほんで、やけど

C：思ってた以上に 予想外のことが起こった

T 9 5：何が予想外やったん

C 1 3 9 沖：めっちゃおっきくなってた

C：おっきくなってた

T 9 6：他の人はどう？今の

うなずく

C 1 4 0 沖：どんなにおっきくなってんねーんっていうぐらい、大分でっかくなってた。

T 9 7：自分が思うより、ここらへんまでおっきくなってたん。

C：うん うん

T 9 8：じゃあ自分が思っている大きさと実際の

C：大きさが全然違う

T 9 9：あっ全然違ったん。ほうほうほう、ほんで、ピーターどうなったん

C：ショック ガーン

T100：ショックなん

C141山：ショックしかない

T101：どういうショック

C142岡：びっくり？みたいなショック

T102：何にびっくりしたん。

C：大きさ 座れへんかったこと

T103：座れへんかったことにショックやったん。

C142柳：大きくなりすぎたショック

C143白：なんでこれさ大きくなりすぎて座れへんくなんの。

C144北：だからその椅子がちっちゃかったからやろ

C145白：やけどさ、こういのってさ大きくなっても座れるやん

C146沖：横があるから座れへんのちゃうん

C147白：あー横があるんか。

T104：この椅子絵の通りでいいよ

C148岡：腕持つところでこうなってるから

C149木：横があるから

C150北：私たちの椅子は手持ちの部分がないから、でもこの椅子はちゃっちゃいのに手持ちがあるからそれ
ぎゅってなるから余計に入りづらくなっちゃう

C：口々に説明してる

T105：今そこなんて言ってた。

C151東：ここに手持ちがあったら更にせまくなるやん。

C152北：だから、あれ。座りにくくなっちゃう

C153白：多分これ赤ちゃん用やからさ、赤ちゃんってふらふらするやん。

C154北：首が座ってないからあぶない

T106：ちょっと話はなれってってるから帰ってきてくれる。

C：赤ちゃんの話になってる

T107：今この大きくなりすぎたのはなしな。ここまできたんやけど、みんな意味わかってる。

C：うん わかる

T108：ピーターの予想はこのへんやったと。

C：うん 座れると思っていた

この後、「大きくなりすぎていたんだ」の意味を抑えた。ピーターはそのことに気が付いたと確認したうえで二つの対立課題の投票を行った。

- ① 赤ちゃんだった自分からの卒業 15
- ② いい子にして構ってもらえるように 9

どこまでが、構って欲しいピーターで、どこからが卒業なのかの境目が曖昧でなかなか入らなかった。○○なりすぎた の自分が思っていたよりの部分に関して抑えられていたが、これを解決しなければならないというところの抑えをできていなかったの、なかなか入らなかった。

その後、初めの行動といいことを考えた後の行動を振り返っていったカーテンの裏に隠れているふりをしたのは、お兄ちゃんになったからいつもとちがう賢い隠れ方をしてみようとおもったから、までは、考えられたがその後は話が脱線してしまいなかなか落ちなかった。

聞こえないふりをする、隠れるふりをしたところは、ピーターにとっての「いいこと」であり、大人の椅子に座ることちっちゃな椅子をピンクに塗ることは、自分にとっても相手にとっても「いいこと」をしていると考えていた。

そのことから、突然頭がよくなっていると思った。突然頭がよくなった訳ではなく、「大きくなりすぎていたんだ」をきっかけにして、お兄ちゃんになる必要があると考え、このちっちゃな椅子はスージーに渡す必要があると考えた。

最終の対立課題をした結果 赤ちゃんの自分からの卒業 で話を終えた。

記録を起こしているとき、一見よく話すように思えたが、学級の発達特性上、衝動的に話し出す児童が非常に多い。そのため、教師の発問とは意図しない「疑問」をすぐに投げかけてしまい、他の児童もそれにすぐに反応して話すため話がかなり脱線してしまう。4月から反応がどんどんよくなっているが、逆に良すぎてしまい教師自身が全く扱いきれていない事がわかる授業記録だった。

また、自分の教材解釈が全く深められていないため、更に扱いきれていなかった。

最後の方に、「突然賢くなるのはおかしい」としきりに言っていた児童がいたのをもっと広げていけば、突然賢くなったのではなく、本当はできる自分を受け入れたということをしっかり落とせたように思う。

今後の課題としては、会話の舵をどうすればもっとうまくとれるか。である。その部分をこの会を通して学んでいきたい。